

# 第41回 兵庫県高等学校総合文化祭 自然科学部門発表会 県立姫路飾西高等学校 自然科学部

「第41回兵庫県高等学校総合文化祭自然科学部門発表会」に参加し、パネル（ポスター）発表をしました。これまで一年間、部員全員が一丸となって協力してきた調査とそこから考察をしっかりと考えて、今年度の新しい調査とこれまでの継続調査をフレゼンテーションしました。今年度はテーマを「人工環境下におけるトゲナベフタムシの生態」に変更して、見る人・聞く人に研究内容をわかりやすくする工夫もしました。



1日目は開会式と口頭発表です。開会式では、神戸大学海老名先生から、発表者はこれまでと同様の継続研究であっても新しく発見したことをわかりやすく説明する、聞く人は発表内容に疑問点を見つけ感じたことを問う姿勢を持つように言われました。口頭発表の時間には、他校の発表をしっかりと聞いて、疑問に感じたことを率直に質問しました。



午前中のパネル（ポスター）発表では、他校生徒に対して、自分たちが取り組んできた研究をわかりやすく説明しました。特に、新しい調査である「各齢期間調査」と「産卵場所調査」では、飼育培養の難しさや明確な差が生じていないことからの仮説の否定など、工夫して繰り返した実験の中で得られた結果を考察し、10分間でフレゼンテーションしました。午後のフリーセッションでも、他校生や先生方からの質問、実験に対するアドバイス・指摘など、気付かなかったたくさんの情報を得ることができ、充実した時間を過ごせました。